

(様式1・小学校用①)

# 令和7年度 学 校 評 価 報 告

草加市立両新田小学校  
(令和8年1月14日作成)

<b>1 学校教育目標</b> 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子	
<b>2 重点目標・努力目標</b> (1) 学習指導の充実 (2) 幼保小中を一貫した教育の推進 (3) 安全・安心で開かれた学校づくり (4) 生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実 (5) 豊かな心の育成 (6) 健康でたくましい児童の育成	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果 ○学校運営協議会の定期的な開催。開催後の学校運営協議会だよりの発行による協議内容周知 ○養護教諭を中心とした、児童の事故発生時に関係各所への連絡・処置の迅速かつ確実な実施 ○教職員の働き方改革の理念に基づく、教育課程の見直し・編制（日課・週時程）  課題 ●主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ●指導内容等、共通理解を深めた生徒指導の実施 ●地域人材・施設等の有効活用

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○職員集会等を活用した校長による学校経営方針についての伝達・共通理解 ●教科等部会・会議回数の厳選
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○児童の実態をもとにした重点教科の設定 ○研究授業・研究協議の実施（年2回） ●教職員一人ひとりの主体的な研修意識の向上
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○危機管理マニュアルの改訂・教職員配付 ○フック洗口の年間実施 ●実践に結び付く反省等を生かした避難訓練の実施
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○個人情報管理規定に基づいた対応の推進 ○毎月の安全点検による教頭・安全主任の確実な実施 ●危険個所の早期発見と早期対応
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○学校だよりの、HP等を活用した情報発信 ○地域人材の有効活用 ●中学校区間での情報共有・連携
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○年度当初・年度末の幼保小中連絡協議会の開催 ●中学校区の目指す子ども像の共有

(様式1・小学校用②)

## 草加市立両新田小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>・教育計画の作成</li> <li>・教育活動の評価</li> <li>・目標、方針の周知</li> <li>・授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・地域の実態に即した教育目標の立案・目標達成へ向けた具現化</li> <li>●限られた時数の中におけるカリキュラムの確実な実施と管理職の見届け</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>・評価、評定の工夫</li> <li>・外部人材の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業力向上を目指した研修主任による研修会の実施</li> <li>●一斉指導型の授業の見直し</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の作成</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・道徳的実践力の育成</li> <li>・家庭、地域社会との連携</li> <li>・いのちの教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場面絵等教材・教具の充実</li> <li>●ねらいや指導内容を捉えた指導の充実</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・評価、評定の工夫</li> <li>・各教科、道徳教育との関連</li> <li>・中学校との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語専科とALTとの連携・授業内容の充実</li> <li>●各教科と関連させた指導の充実</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・学級活動、学級経営</li> <li>・学校行事</li> <li>・児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に参加する話し合い活動を目指した授業研究会・協議会の実施</li> <li>●児童の自主的活動を目指したクラブ・委員会活動の計画・実施</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・指導内容の充実</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・評価の工夫</li> <li>・地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉等、体験活動の充実</li> <li>●自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される単元設定</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な生徒指導</li> <li>・問題行動への対処</li> <li>・教育相談、児童理解</li> <li>・いじめ防止対策</li> <li>・保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶・返事・履物そろえの励行</li> <li>●指導内容等、共通理解を深めた生徒指導の実施</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の立案</li> <li>・指導内容の充実</li> <li>・中学校との連携</li> <li>・啓発的経験の充実</li> <li>・家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「あいさつ運動」等で中学校と連携する機会の充実</li> <li>●成長や自己肯定感を味わわせるキャリアパスポートの活用</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画、支援計画</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・通常学級との交流</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育コーディネーターを中心に配慮を要する児童に対する的確な指導</li> <li>○積極的な通常学級との交流</li> <li>●保護者への働きかけ・理解を求める対応</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画、支援計画の作成</li> <li>・図書館補助員の活用</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・図書館の整備</li> <li>・図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館司書教諭を中心とした読み聞かせの実施</li> <li>●児童が継続的に読書に親しむことができる環境整備</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育計画の作成</li> <li>・校内研修の充実</li> <li>・ICT機器の積極的な活用</li> <li>・情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報主任の働きかけによるICT支援員の活用及びICT機器を活用した授業の推進</li> <li>●教育効果を高めるICT機器の積極的な活用</li> </ul>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の策定</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・人権感覚の育成</li> <li>・校内研修の充実</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童会を中心としたいじめ撲滅運動と人権意識の高揚</li> <li>○夏季休業中の教職員研修会の実施</li> <li>●人権意識を高める他教科との関連</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある 学校づくり	学力向上	基礎学力の定着  授業規律の確立  主体的、対話的で深い学びを実現する授業改善	B	○埼玉県学力・学習状況調査結果をもとにした実態把握・改善へ向けた手立ての考察 ●学力調査の校内平均正答率の向上(基準:全校・県・市の平均正答率) ○89%の児童が「人の話をしっかりと聞いていると答えている」と回答 ●学ぶ楽しさを味わわせる授業改善 ○国語・特別活動を中心教科とした研究授業の実施(年2回) ●自分の考えや思いを伝えることができる児童の育成(児童アンケート75%・保護者アンケート69%回答)
	読書活動	読書活動推進の取組	B	○「教師のお勧め本」「新刊」等ポップ作成など図書館司書教諭を中心とした掲示物の充実 ○「読み聞かせ」の月1回程度の実施 ●児童の発達段階に応じた読書の推奨 ●児童が継続的に読書に親しむことができる環境整備
	保健指導	歯磨き指導の充実	A	○フッ化物洗口の計画・実施 ○保健委員会による歯磨きの推進・呼びかけ ●保護者理解・協力を促す働きかけ

## 5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

### ○行事の実施

運動会や授業参観等の行事を概ね実施することができた。持久走大会から変更した校内タイム走など、教育効果を鑑みた内容の検討をさらに進めていく必要がある。

### ○授業規律の確立

「人の話をしっかりと聞いていると答えている」と回答している児童は89%だが、保護者はまだ十分でないと感じている。(保護者回答75%)さらに、児童が学ぶことが楽しいと実感できる授業改善を行っていく。

### ○児童の安全確保

養護教諭が中心となり、児童の事故発生時に関係各所への連絡・処置の迅速かつ確実な実施へ向けて動くことができた。

### ○校内研修の取組

国語と特別活動を中心教科として校内研究授業を2回実施した。また、授業力向上を目指した研修主任による研修会を実施した。教職員同士に授業を見合い、主体的・対話的で深い学びを充実させるために授業改善を行っていく。

### ○生徒指導

生徒指導委員会で校内の問題点を共有した。さらに、指導内容等、教職員間で共通理解のもと進めていく。

### ○特別支援教育

特別支援コーディネーターが各担任に具体的な指導内容を伝え、支援したことで安心して指導できる体制が整った。

### ○学校図書館教育

「読み聞かせ」は、昨年度に比べ回数は減ったが、ほぼ計画どおり実施することができた。児童が継続的に読書に親しむことができる環境を整備していく。

### ○地域人材の活用

校長が中心となり地域施設に働きかけ、多くの方が来校し、教育活動を支えていただいた。さらに、教職員とともに歩んでいく体制を確立し、本校をよりよくするよう努めていく。

## 6 次年度の改善策

### ○学力向上

中低位層へ焦点をあてた指導の充実や学ぶ楽しさを味わわせる授業改善が課題である。同時に、授業規律の確立についても教職員の共通理解のもと指導できるようにする。

### ○自分の考えを伝えることができる児童の育成

「自分の考えを伝えることができる」という質問に対して児童の肯定的な回答は75%であった。保護者も「自分の子どもは、自分の考えを話すことができているか」という質問に対して肯定的な回答は69%であった。校内研修を活用し、自分の考えや思いを伝えることに抵抗感をなくしていくこと、自信をつけさせていく手立てを講じていく。

### ○生徒指導

何に対して指導するのか、教職員の対応がぶれないよう、共通理解を図って対応していく。

### ○清掃指導

「そうじに真剣に取り組んでいる」という質問に対して児童の肯定的な回答は74%であった。教職員も同様に課題を感じている。教職員の配置と掃除場所を併せて考慮し、取り組んでいきたい。